

2026 年 9 月 10 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

FRONTEO、「AI Innovation Forum 2026」製薬企業 5 社の 講演レポートを公開

AI 創薬の実装最前線、標的探索・創薬シーズ評価・
ドラッグリポジショニング・抗体創薬などの実践事例を紹介

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、2026 年 7 月 23 日に開催した「FRONTEO AI Innovation Forum 2026」における、製薬企業・バイオベンチャー 5 社の講演内容をまとめたレポートを公開しました。



【「FRONTEO AI Innovation Forum 2026」講演レポート掲載ページ】

URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar>

■AI 創薬の実装に取り組む 5 社の講演をレポート

FRONTEO AI Innovation Forum は、2019 年の初開催以来 8 回目を迎える FRONTEO 主催のカンファレンスです。製薬企業の経営者や研究者、新規事業開発部門担当者が FRONTEO と AI を活用して創薬に取り組んだ実践事例を共有する場として、AI 創薬の最新動向や、研究開発の現場における AI 活用の可能性を発信しています。

今年は「Drug Discovery AI Factory 実装最前線——プロジェクトから業務提携・共同創薬へと広がる共創の形」をテーマに、FRONTEO の AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」を活用する参天製薬株式会社、富士製薬工業株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、株式会社エヌビー健康研究所、丸石製薬株式会社（講演順）の 5 社が登壇しました。

各社の講演では、DDAIF を活用した標的探索、創薬シーズ評価、ドラッグリポジショニングなどのプロジェクトに加え、バイオベンチャーの創薬シーズの事業化を支援する共同創薬エコシス

テム事業「DDAIF Innovation Bridge」や、製薬企業の全社的な創薬戦略を支援する「戦略的業務提携」など、AIを活用した創薬のさまざまな取り組みが紹介されました。

このたび公開したレポートでは、各社の講演内容をダイジェストで紹介し、AIが創薬研究・事業のさまざまな場面でどのように活用されているのかをお伝えします。また、一部のレポートでは、当日の講演を収録したアーカイブ動画もあわせてご覧いただけます。

■講演レポート一覧

【参天製薬株式会社】

「FRONTEO との共創による眼科疾患に対する標的探索のアプローチ」

眼科イノベーションセンター ディスカバリーリサーチ リサーチサイエンティスト

谷口 孝純 氏

講演レポート URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar/2026-07-forum-santen>

【富士製薬工業株式会社】

「創薬シーズ評価における DDAIF 活用 | 女性医療創薬シーズ評価への挑戦」

研究開発本部 ドラッグディスカバリーグループ プロジェクトマネジメント課 課長

清水 隆弘 氏

講演レポート URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar/2026-07-forum-fujipharma>

【Meiji Seika ファルマ株式会社】

「Meiji Seika ファルマが取り組む新たなドラッグリポジショニングのアプローチ」

研究開発本部 研究開発戦略部 スペシャリスト

辻井 惇也 氏

講演レポート URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar/2026-07-forum-meijiseikapharma>

【株式会社エヌビーエー健康研究所】

「KIBIT による GPCR 抗体創薬の効率化」

代表取締役

高山 喜好 氏

講演レポート URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar/2026-07-forum-nbhl>

【丸石製薬株式会社】

「創薬研究開発を加速する FRONTEO との戦略的業務提携とその展望」

代表取締役社長執行役員

井上 勝人 氏

講演レポート URL : <https://lifescience.fronteo.com/seminar/2026-07-forum-maruishi>

FRONTEO は今後も、DDAIF の提供ならびに製薬企業・バイオベンチャー、アカデミアとの共創を通じて、AI 創薬の社会実装を推進するとともに、創薬研究における AI 活用の実践事例や知見を広く発信し、革新的医薬品の研究開発と日本の創薬力強化に貢献してまいります。

■FRONTEO Drug Discovery AI Factory (DDAIF) について

【ご参考：製薬企業およびアカデミアとの取り組み】

URL : <https://www.fronteo.com/news/ddaif-list>



「FRONTEO Drug Discovery AI Factory (DDAIF)」は、自然言語処理に特化した方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」(日本・欧州・米国・韓国特許取得済*) と、FRONTEO の創薬研究者および AI エンジニアの知見を融合した AI 創薬支援サービスです。疾患関連遺伝子ネットワーク

の解析や、標的分子候補に関する仮説の構築を通じ、医薬品開発における研究者の意思決定を強力にサポートします。本サービスはすでに複数の大手製薬企業で導入され実績を重ねています。

*Drug Discovery AI Factory に使われている技術は、FRONTEO が日本および欧州、米国、韓国で計 21 件の特許権を取得しています。

URL : <https://lifescience.fronteo.com/products/drug-discovery-ai-factory/>

■株式会社 FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術(日本・欧州・米国・韓国特許取得済)は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化(構造を可視化)する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、リスクマネジメント（[経済安全保障分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野](#)、[リーガルテック AI 分野](#)）、DX（[株式会社アルネッツ](#)）

の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 6 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、Drug Discovery AI FactoryはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

＜報道関係者のお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-3449-6844

＜ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://www.fronteo.com/ja/contact/business>